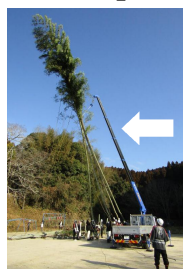


今年もよろしくお願ひします

令和7（2025）年が始まりました。学校は後期後半がスタートし、令和6年度のまとめの時期です。
2か月後に進学・進級する自覚をもって、毎日を大切にしていきたいと思います。今年もよろしくお願ひします。

どんどや 大盛況

5年ぶりに 高い櫓を組み 催しもたくさん！



1月18日（土）はどんどやでした。クレーン車2台も出動して保護者、地域の方、消防団のご協力で、5年ぶりに巨大な櫓を組みました。

櫓組みに並行して豚汁、シシ汁、おにぎり、ぜんざいの調理やバザー会場の設営。1・2年生はもぐらうちの道具作成を民生委員さん方に教えていただき、運動場でもぐらうちをしました。全ての準備が済むと、

どんどやの櫓の前に集合して保護者や地域の方も一緒に記念撮影。その後、消防団のご協力で手押しポンプによる放水の実演があり、子どもたちも全員体験させていただきました。

そして、子ども代表3人が点火。高い櫓に火がつくと大変な迫力で、吉書揚げも上昇気流に乗って高く遠く飛んでいきました。その後、お楽しみの食バザーと物品バザーが児童昇降口とプール前で行われ、運動場周辺で一体感のある会になりました。地域の方もたくさんお越しになりました。

P T Aの担当の皆さんには何日もかけてご準備いただきました。また、消防団や地域の方々のおかげで事故なくどんどやを終えることができました。準備等大変ですが、どんどやは校区がつながるすてきな行事です。皆さん本当にありがとうございました。



6年 伝統的工芸教室

陶芸の郷なんかん 小学校卒業を前に体験学習

1月20日（月）、27日（月）の午後は、6年生の伝統的工芸教室でした。南関町では小学校卒業前に陶芸体験をするプログラムがあり、今年も16人の6年生が取り組みました。講師は素月窯の松永さんと三池焼の中村さんです。

1回目で土を思い思いの器の形に成形し、2回目で模様を付けました。世界でただ1つだけのオリジナル。どの子も真剣な表情でした。この後、窯で実際に焼きあげをしていただき、3月のなんかん大陶器まつり（陶器・梅まつりを改称）と卒業式で展示します。できあがりを楽しみます。

